



6. 行政との協働研修



宝塚市職員研修(2回シリーズ)

「協働に向けた理解を深めるワークショップ」
“協働の必要性とメリット”

講師:川中大輔氏

対象:宝塚市役所職員

①2009年12月18日(金) 参加者:20名

②2010年 2月 4日(木) 参加者:21名 参加NPO:5法人



チームたからづか学習会

「協働事例発表とワークショップ」

対象:宝塚市職員プロジェクトチーム

「チームたからづか」メンバー

2010年1月15日(金)

講師:森 綾子



市民と行政が協働して策定する「第5次宝塚市総合計画」の検討市民会議の事務局を、宝塚市と協働して担った。検討市民会議は全体会6回、部会34回の審議を経て昨年5月から12月まで7ヶ月をかけ、原案を作成。検討市民会議終了後、引き続き審議会事務局を担う。この事業の成果は、市民の声を総合計画に反映させ、宝塚市の10年後に市民との協働が必要不可欠であることを明確化したことと、センターの目指す方向性の再確認であった。



宝塚・語りつぐ震災～安全・安心なまちをめざして～

震災後15周年を機に、従来の「鎮魂・防災」だけでなく、風化させないために、体験を語り継ぐ事を目的に、1月17日、シンポジウムと追悼・希望・絆のコンサートを開催。

(震災時の写真展示は1/14～22)

震災を知らない若い層も含め、幅広い年代の市民の参加により、安全安心なまちづくりをどのように進めていくかについて考えるきっかけとした。

■参加者数:240人(シンポジウム120人・メモリアルイベント)

宝塚NPOセンターは、兵庫県から生きがいしごとサポートセンター事業を8年間継続して受託し、コミュニティ・ビジネス起業支援218団体(県外を含むと250団体)となった。

2009年度に当センターがNPO法人の設立認証申請書類及び設立登記申請書類の作成を支援した団体は19で、コミュニティ・ビジネスの起業を支援した団体は5の計24団体である。

当年度の相談件数は、法人設立申請160件、登記申請67件、定款変更8件、登記後届13件、運営相談510件、役員変更21件、事業報告34件、起業・助成金相談132件の、計945件であった。

当センターでは、NPO法人の設立認証申請から設立総会の議事運営、設立登記申請、設立後の登記完了届から、役員変更、事業報告書等の諸届まで、親切・丁寧に相談者のペースに合わせて解決する姿勢で日々取り組んでいる。

1. ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業

2009年5月から、兵庫県の「ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業」として、但馬地域におけるNPO法人設立等コミュニティ・ビジネスの起業を支援するため、豊岡市竹野町に「宝塚NPOセンター但馬支部」を設け、2名の指導員を置いている。

2009年12月から、ふるさとコミュニティ・ビジネスインターン研修として2名を追加し、現在では4人体制で、起業の相談会や啓発活動を行っている。

指導員を介して、NPO法人設立申請書類作成等のため、豊岡市、養父市及び朝来市において、当センターの出前相談会を11団体に対して、15回開催し、ゆのはな(城崎町)、そら(日高町)、日高共同作業所(日高町)の3団体が法人格を取得し、本年6月には、ほたるの里奥米地(養父市)、但馬NPO応援隊(朝来市)の2団体が法人設立を認証されることとなっている。

2. CBゼミナール(年間7回・参加者51名)

実務講座:CB入門・NPO起業・会計・広報などCBに関する基本的な知識を習得した。

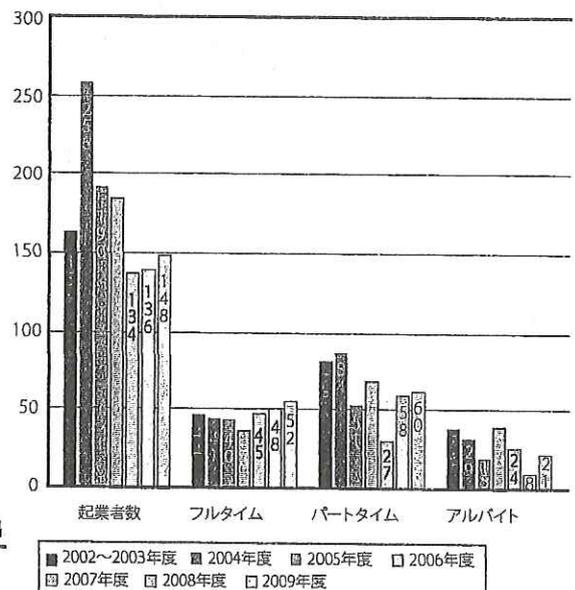
3. 起業支援体験・セミナー・相談(年間31回・参加者159名)

地域で起業を目指す、仲間と生きがいしごとの創造を目指す方々を対象に、事業プランを立て、先輩起業家とのネットワーク形成を行った。

- ・CB現地視察ツアー(7/11)(宝塚市内の3事業所:農家・パソコン教室・就労支援カフェを訪問)
- ・CB起業支援講座(7/18~8/1毎週土曜全3回) 起業までの課題を整理・事業計画書作成
- ・CB離陸応援事業応募準備講座
- ・CB経営サポート

魅力ある新規事業・商品開発・営業開拓などテーマごとに事業所間交流・課題解決ワークショップを通して、各事業所事業計画を作成した。

魅力あるサービス作り・収益UP計画作りセミナー
 広報力・情報発信力セミナー
 会計実務・決算および年度末処理セミナー



起業支援と生きがいしごと創出
2002年度~2009年度

4. 無料職業紹介 (求人数484件・求職者数346名・うち就職成立者数127名)

NPOによる合同就業相談会(7/24:尼崎、1/24:神戸)

県下6つの生きがいしごとサポートセンターが地域密着・社会貢献事業所の求人を中心に、合同就業相談会を開催。

生きがいしごとサポートセンターによる就職促進事業(通年)

今年より兵庫県より就職促進事業として、求人開拓員を新たに配置し、この不況の中、足でかせぐ求人開拓を実施。

5. CB生産物見本市 & ニーズマッチング事業

CB生産物見本市(3回)

当センターが仲介役となった、小規模生産者と企業を結ぶこの事業は、2010年度はソリオ商店会と協働で駅前マルシェ(毎月開催)に出店が決定。ますますの成長が望まれる。

行政とNPO協働マネジメント研修:神戸市の地域協働事例に学ぶ(3/16)

阪神間のNPOのネットワーク組織として2000年4月に発足し、個々の団体では実施しにくいリーダーとスタッフのためのスキルアップ研修や、情報交換、NPOの啓発活動などに取り組んでいる。

毎月の例会は94回を迎え、恒例の研修としては、12/19～20「10年後のNPO～私たちの未来図をつくろう～」として、ミッションを反映した事業計画の立て方をテーマに宿泊研修を月例会のべ169人、宿泊研修のべ40人であった。

このようなネットワークにより蓄積された情報を活用することで阪神間のCB・NPOに対し効果的なサポートサービスを提供している。

近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度

退職された方や豊かな経験をお持ちの方のマンパワーを、NPO活動に役立てていただくことで、生きがいや地域への貢献をめざしている制度。

阪神NPO連絡協議会の受託は、今年で10年目となり、阪神間の担当支援機関として8/8ボランティアセミナーを開催し、NPOでボランティアをしたい人とボランティア募集中のNPO法人との「出会いの場」を提供。

■参加NPO:9団体 ・ボランティアマッチング成立20人

1. NPO北ハウス阪神北

NPO法人「アイ・アイ宝塚」とNPO法人「森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部」が入居。

2. 阪神北「ひょうごアドプト推進事業」

河川の清掃, 里山の保全, 道路の花壇の維持管理などを地域のボランティア団体・地縁組織・NPO等が担う制度。各県民局が推進しているが、県内唯一の協働モデルとして、NPOセンターが事業委託をされている。センターが事務局を担ったことで、活動団体間のネットワーク構築や団体へのスピーディーな対応が大きな評価を受け、秋には「アドプト☆チャリティフェスタ」も開催。

事業の内容は中間支援組織のマニュアルを全国の中間支援組織に伝授すること。
今年で2年目に当たる。この事業は3年事業である。

1. わかやま NPO センターへのハンズオン

わかやまNPOセンター及び田辺市市民活動センターのスタッフの研修やマニュアル化を図った。
NPO組織の課題やリーダーの役割などを重点的に行った。

2. 富田林市市民公益活動センターへのハンズオン

富田林市と年間計画書を作成し、NPOや市民活動における事業を展開。実績としては事務実務、交流事業に関するハンズオン支援、ブログの指導、講座・研修等に関するハンズオンを行った。課題はスタッフが辞めるため積み重ねが出来ないこと。マニュアルとして残した。

1. 関西子ども・若者サポーターズネット

この事業の目的は、関西で暮らす就労・就学・社会生活に困難を抱える若者・子ども、その家族が安心して暮らせる社会・地域・支援団体サポートを目的とし、事業を実施。

- ①情報発信：若者・子ども支援の情報を一元発信するポータルサイトを完成・運営。
- ②情報発信：「関西子ども若者支援ガイドマップ」発刊。
- ③イベント：11月に「関西子ども若者支援フォーラム」を開催(参加者200人)

2. 宝塚市 若者就労支援事業

「ワークサポート宝塚」：若者しごと相談広場事業と連携し、就労しにくい若者たちのために「就労支援プログラム」「トレーニング生活訓練・職場体験実習」を含む「若者就労支援事業」を実施。